

# 一般質問 Q&A

**Q** 職員の適正な配置について

沖也寸志 議員

**A** 「行財政改革審議会」に諮問する

市長

**Q** 職員の環境と適材適所に尽力すれば8、127万円の残業代の削減になるのでは。  
**A** 旧町の残務整理並びに新市の業務が輻輳したこともあって、職員の超過勤務が増大した。健康面・経費面や各部署との人事交流も視野に

全体を見据えた適正な人事配置に努める。  
**Q** 460人の職員数は、3万人の人口に対して適正か否か。  
**A** 「江田島市行財政改革審議会」に諮問する。  
**Q** JA呉中町支店を年間239万円で借り

上げているが、既存の公共施設の活用は。  
**A** 本庁舎に近いこと、執務スペースの確保等、一定の要件を満たしていたので、改善の策として借り上げた。



▲市教育委員会が入っているJA呉中町支店ビル

**Q** 三高港の整備を

登地 靖徳 議員

**A** 「対策協議会」を立ち上げる

市長



▲フェリーが発着する三高港

**Q** 市営交通船と芸備商船(株)のフェリーが、同じ時間帯に能美島と広島港間を運航しているが、江田島市誕生を機に無駄を廃し、経営効率を上げ、運航時間の短縮・待ち時間の短縮に係る政策は、市行政に利益をもたらす、住民の利便性を図ること

となり「住んでみたい島・豊かな島・栄える島」の実現になるものと考え。そのためには、フェリーポートの母港を広島に一番近い三高港に置き、海上交通の最適な運航計画とその発着に合わせたバスの運行が最善と考えるが。

**A** 早速、本年度「江田島市交通問題対策協議会」を立ち上げ、交通体系に関する総合的な調査・研究を行うよう準備を進めて、公共交通を最善のものとするために努力する。

**Q** 学力向上への取り組みは

津田 紘吏 議員

**A** 調査を行い改善を図る

教育長

**Q** 全国的に子供の学力が低下していると言われている。この現状を踏まえ、学力向上への取り組みはどのように行っているのか。  
**A** 学力調査を行い、指導方法や教育計画の改善を図り、教職員の資質向上に努めると共に、

教育の向上に積極的に取り組む学校には支援をする考えである。  
**Q** 観光客を増やすための具体策は。  
**A** 4町合併は観光面において、大きな期待が持たれています。観光客を増やす具体策は、持っていますか。

**A** 観光協会と連携し、県外へのPRも実施する。  
ふるさと交流館を柱に観光マップの作成、イベントの継続など観光事業の推進を図ると共に、県外にもPR活動を実施していきたい。

▼能美中学校での授業風景



**Q** 大丈夫か、救急依頼?

山根 啓志 議員

**A** 応急手当の体制を構築

市長



▲江田島市消防本部

**Q** 平成15年度の救急要請は、1,369回、前年比146件増加。現在、65歳以上の一人暮らしの方が2,572人以上おられ、さらに増加している。今後、救急要請に際されるか。  
**A** 将来の高齢化社会に伴う、救急需要の増加に対応するためには、

救急車台数の検討も含め、全市の観点から、普通救急講習会を積極的に開催し、応急手当の体制を構築する。  
**Q** 救急要請した際、救急車両がない時は、年間では、同時に出勤していることもありますが、その時は救急隊員を消防車両に乗せて応急

対応している。将来の救急の増大を見据えた中で、どうあるべきか検討する。  
**Q** 江田島北部・沖美北部地域に、救急対応のできる赤バイ(※)の常駐を。  
**A** 赤バイの運用については、できるだけそのような体制も考え、応急処置のできる市民の育

成、へりによる搬送を含め検討する。  
(※)赤バイ  
火災や震災などの発生時に、いち早く現場の情報収集し、救助へつなげる初期活動をする消防活動二輪車。